

(様式第2号)

団体概要書

(その1)

団体名	特定非営利活動法人関西芸術振興会・関西歌劇団	団体の種別 ※いずれかの□にチェックしてください。	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input checked="" type="checkbox"/> NPO法人 (<input type="checkbox"/> 認定NPO法人) <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の役職・氏名	(ふりがな) りじちょう ゆあさ ちぎり 理事長 湯浅 契		
主たる事務所の所在地	大阪府大阪市都島区片町 2-4-14 TAKUTOビル7F		
設立年月	平成 18年 6月	構成員数	176
事業年度	4月 1日 から 3月 31日		
団体の活動目的	この法人は、あらゆる人々に対して芸術文化の振興に関する事業を行い、国民文化の普及、発展、向上に寄与することを目的とする。 この法人は、上記の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。 ①まちづくりの推進を図る活動 ②学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 ③国際協力の活動 ④子どもの健全育成を図る活動 ⑤前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動 この法人は、上記の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 特定非営利活動に係る事業 ①一般市民の音楽・オペラ等の広範な芸術鑑賞のための公演・展示に関する事業 ②広範囲な地域での音楽をはじめとする芸術活動及び音楽の教育に関する事業 ③芸術文化に関する調査研究・資料刊行に関する事業 ④その他目的を達成するために必要な事業 (2) その他の事業 ①興行業 ②物品販売業		
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 1 音楽		
主な活動内容	・関西歌劇団によるオペラ公演及び演奏会の開催 ・関西歌劇団オペラ歌手育成のためのオペラ研修所の開講 ・一般市民を対象としたオペラ教室及び合唱クラスの開講 ・クラシック音楽およびバレエの月刊専門紙「関西音楽新聞」の刊行		
これまでの主な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 【関西歌劇団 オペラ公演】 令和3年3月6日 あましんアルカイックホール・オクト 関西歌劇団 新進歌手による 名作オペラハイライト 令和3年6月16日 兵庫県立芸術文化センター 小ホール 関西歌劇団 スプリングオペラ《修道女アンジェリカ》 令和3年9月25日・26日 吹田市文化会館 メシアター大ホール 関西歌劇団 第101回定期公演「アドリアーナ・ルクヴルール」 令和4年3月4日 あましんアルカイックホール・オクト 関西歌劇団 新進歌手による 名作オペラハイライト 【関西歌劇団 演奏会】 令和3年7月14日 心齋橋バルコ SPACE14 関西歌劇団 サマーコンサート 漢(オトコ)だらけのアツイ夏2021 令和3年8月2日 阿倍野区民センター 小ホール 関西歌劇団 20th GREEN CONCERT 令和3年12月20日 吹田市文化会館 メシアター大ホール 関西歌劇団生みの親 朝比奈隆訳詞 オペラ・ガラ・コンサート 令和3年12月21日 心齋橋バルコ SPACE14 関西歌劇団 クリスマスコンサート 愛と夢につつまれて		
ホームページ	有 (URL http://www.kansai-opera.co) / 無		
機関紙	有 (機関紙名 関西音楽新聞 (Classic Note)) / 無		

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

寄附者への P R 等

(その 2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<p>コロナの感染拡大により、舞台芸術を取り巻く環境も大変厳しい状況が続いております。コロナの感染が落ち着くまでは現状を維持して行くことが当面の課題となっております。</p> <p>そのような中、弊会と致しましては</p> <ul style="list-style-type: none">・次代を担う芸術性の高い人材育成。・興行としての一層のレベル向上。・活動継続と団体維持のための安定した財政基盤の構築。 <p>などを重点的な課題として取り上げております。</p>
<p>貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>関西芸術振興会・関西歌劇団は創立 72 年になります。創立者 朝比奈隆氏をはじめとする先人達が築いて来たオペラの舞台を大切にしながらも、新しい事に挑戦する事も忘れず、新たな公演様式や方法を取り入れてまいりたいと考えております。総合芸術たるオペラの楽しさや素晴らしさを出来るだけ多くの皆様にご覧いただき、同じ空間を共有し、出演者の息遣い感じられる様な「生」の演奏の素晴らしさを味わって頂きたく、日々活動しております。今後音楽界が更に発展していく為に必要である、次世代の才能あふれる新規団員の獲得と若手団員の育成に伴い、新進歌手達への発表の場を設け、公演等の経験が少しでも多く積める様に取り組みます。</p> <p>更に市民の皆様にもオペラを身近に感じていただける様、市民参加型のクラシック音楽の啓蒙に一層努力してまいります。</p> <p>賛助会員・ファンクラブ会員の新規加入及び継続による、財産基盤の安定化にも注力してまいります。</p>
<p>市民等寄附者に対する P R</p>	<p>私たち関西芸術振興会・関西歌劇団は、関西歌劇団と関西音楽新聞などの活動をとおして、皆様の心の中にある「感動」という贅沢を追求しております。総合芸術といわれるオペラの世界は、人間が本来持つ声による芸術的表現をもって観客の皆様と感動を共有しようとするものであります。人の心に響く声と、心からのパフォーマンスにて感動していただき、前進する勇気や、希望を与える事が出来ればと考えます。関西歌劇団では一方的なパフォーマンスの伝達だけでなく、オペラ研修所や、オペラ教室、合唱クラスにおいて、「声」を出すことにより、生活の中の「心の豊かさ」を皆様感じて頂きたく活動を続けております。</p> <p>今後も、オペラ公演のみならず感動して頂けるコンサート等を企画して参ります。輝く未来ある次世代の歌手を育成していく為にも、芸術文化の発展のためにも どうぞ皆様の温かいご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。世界的に経済環境の厳しい中ではありますが、何卒よろしくお願いを申し上げます。</p>